

平成 28 年 度

入学者募集要項

入 学 案 内



推 薦	願 書 受 付 期 間	平成28年1月7日(木)～1月13日(水)
	面 接 日	平成28年1月30日(土)
	判 定 結 果 の 通 知	平成28年2月3日(水)
	入学確約書提出期限	平成28年2月15日(月)
	合 格 者 発 表	平成28年2月26日(金)
学 力	願 書 受 付 期 間	平成28年2月4日(木)～2月10日(水)
	試 験 日	平成28年2月21日(日)
	合 格 者 発 表	平成28年2月26日(金)
	入 学 意 志 確 認	平成28年3月10日(木)
	入 学 確 認 書 提 出	平成28年3月15日(火) 12時
合 格 者 入 学 手 続 日		平成28年3月17日(木)

独立行政法人 国立高等専門学校機構

国立 八戸工業高等専門学校

National Institute of Technology, Hachinohe College

青森県八戸市大字田面木字上野平16の1

〒039-1192

T E L (0178) 27-7234 (学生課入試・教務係)

F A X (0178) 27-9487 (学生課)

ホームページ <http://www.hachinohe-ct.ac.jp/>

メールアドレス kyoumu-o@hachinohe-ct.ac.jp

目 次

◎ 八戸高専とは	1
◎ 入学者募集要項	
I. 募集定員	2
II. 選抜の方法	2
A. 推薦による入学者の選抜	
1. 出願資格	2
2. 推薦人員	2
3. 出願手続	3
4. 選抜の実施方法	3
5. 面接試験日時及び会場	4
6. 推薦選抜結果の通知及び入学確約書	4
7. 不合格となったときの取り扱い	4
8. 合格者の発表	4
B. 学力試験による入学者の選抜	
1. 出願資格	4
2. 出願手続	4
3. 選抜の実施方法	5
4. 学力試験日時及び会場	5
5. 合格者の発表	6
6. 入学意志確認	6
7. 合格の通知	6
8. 入学確認書の提出	6
III. 追加合格	6
IV. 入学手続等	6
V. 身体に障害を有する者等で入学を志願する場合の事前連絡	6
VI. 個人情報の取り扱いについて	7
VII. 学力試験による入学者選抜を受験した者の入試成績の開示	7
◎ 学習・教育到達目標	8
◎ 入学案内	
1. 本校の目的と性格	9
2. 創 設	9
3. 修業年限・学生定員等	9
4. コースの紹介	9
5. 課外活動	11
6. 学 寮	11
7. 入学時に必要な予定経費	11
8. 入学料・授業料及び寄宿料免除制度	12
9. 奨学金制度	12
10. 高等学校等就学支援金制度	12
11. 卒業後の進路等	13
◎ 中学校別電算コード番号表	18

八戸高専とは

本校は、社会の多様な要請に応えるため、独自の教育目的を掲げ、創造力と開発能力を有する実践的技術者の育成に努めています。この実現のため本科1学科4コース・専攻科1専攻4コースを設置し、具体的に設定した学習・教育到達目標の達成を目指して教育活動を展開し、自己点検し、教育改善を進めています。

教育方針

豊かな教養を基盤として、高等の専門技術科学を体得せしめ、個人の自由と責任を自覚して規律を遵守し、人類福祉の増進と社会の進展に積極的に貢献する技術者を養成することを教育理念としています。

本科の工学基礎教育の上に専攻科の工学教育を通して、創造力と開発能力を兼ね備えた実践的技術者を育成します。

この目的を達成するため、「誠実・進取・協調」の校訓にのっとり、自立的な人材の育成に主眼をおきながら、ものづくり・システムづくりの専門技術教育を推進します。

○ 養成しようとする技術者像

本校が、養成しようと考えている技術者像は、「多角的視野を持ちつつ、実験・測定技術、数理的手法および情報処理技術を基盤に、得意とする専門技術分野の基本的素養を持った、『ものづくり』や『システムづくり』に強い実践的・創造的な技術者」です。

○ 学習・教育到達目標

本校では、「豊かな人間性の^{かんよう}涵養」、「工学知識・技術の修得」、「地域社会への貢献」、「コミュニケーション能力の習得」という4つの骨格をもつ6つの学習・教育到達目標を設定しています。詳しくは8ページを参照してください。

アドミッションポリシー

本校の教育方針にふさわしい学生を募集するため、学生募集の理念と入学者選抜方針いわゆるアドミッションポリシーを以下のとおり設定し、次のような「ものづくり」に興味を持ち、将来、優れた技術者として社会に貢献することに熱意を持った学生の入学を期待しています。

1. 他人への思いやりができ、責任ある行動がとれる人
2. 数学・理科や英語が好きで、学習意欲のある人
3. 「ものづくり」に興味を持っている人
4. 技術を通して社会に貢献する夢がある人
5. 他の人々と積極的に対話しようとする人

平成28年度入学者募集要項

本校では、豊かな教養を基盤として、高等の専門技術科学を体得せしめ、個人の自由と責任を自覚して規律を遵守し、人類福祉の増進と社会の進展に積極的に貢献する技術者を養成することを教育理念としています。また、本科の工学基礎教育の上に専攻科の工学教育を通して、創造力と開発能力を兼ね備えた実践的創造的技術者を育成することを目的としています。

I. 募 集 定 員

学 科	コ ー ス	募集人員	入学定員
産 業 システム 工 学 科	機 械 シ ス テ ム デ ザ イ ン コ ー ス (略称：機械システム)	4 0 名	計 1 6 0 名
	電 気 情 報 工 学 コ ー ス (略称：電 気 情 報)	4 0 名	
	マ テ リ ア ル ・ バ イ オ 工 学 コ ー ス (略称：マ テ リ ア ル)	4 0 名	
	環 境 都 市 ・ 建 築 デ ザ イ ン コ ー ス (略称：都 市 建 築)	4 0 名	

II. 選 抜 の 方 法

入学者の選抜は、**推薦**によるものと、**学力試験**によるものの二つの方法で行います。

A. 推薦による入学者の選抜

1. 出 願 資 格

平成28年 3 月卒業見込の者で、次の各条件に該当し、出身中学校長が責任をもって推薦する者。

- (1) 人物が優れ、心身が健全で本校への入学の意志が確実な者。
- (2) 志望コースに対して、適性、興味及び関心を有し、志望理由が明確な者。
- (3) 調査書の各記録が優良であり、「必修教科の学習の記録」における 5 段階評定の 3 年間の総計が112以上であること。

2. 推 薦 人 員

推薦による入学者数は、各コースとも**募集人員の50%以内**とします。

一中学校あたりの推薦できる人数の制限はありません。

3. 出 願 手 続

(1) 入学願書受付期間

平成28年1月7日(木)から1月13日(水)まで(郵送の場合も、期間内必着とします。)

受付時間は、9時から16時まで。

(2) 出願に必要な書類等

出願に必要な書類は次のとおりです。

なお、①から⑥までの書類は本校所定の用紙(②調査書、③推薦書、⑥成績一覧表については記入要領の条件を満たしたもの。)を使用してください。

書 類 等	摘 要
① 入学願書・写真票・受験票	写真票に貼付する写真は、平成27年11月以降に撮影した上半身、脱帽、正面向きの縦6cm×横4.5cmの大きさのもの。
② 調 査 書	本校所定の用紙を使用し、出身中学校長が作成したもの。
③ 推 薦 書	本校所定の用紙を使用し、出身中学校長が作成したもの。
④ 返 信 用 封 筒	受験票送付用ですから、本校所定の封筒に82円切手を貼付してください。(願書を持参する場合も同様です。)
⑤ 検 定 料	16,500円〔納入期間 平成27年12月16日(水)～平成28年1月13日(水)〕 本校所定の「入学検定料振込依頼書」により銀行等に振込み、銀行等から受け取った「入学検定料領収書・受付証明書」を「入学検定料領収書・受付証明書貼付票」に貼り付けて提出すること。
⑥ 成 績 一 覧 表	本校所定の用紙を使用し、出身中学校長が作成したものとし、1校につき1部提出してください。

(注) ④で複数の志願者分をまとめて送付希望される中学校については、本校所定の封筒に92円切手を貼付して提出してください。その場合の封筒は、1通に志願者氏名をまとめて記入してください。

(3) 出願の方法等

(ア) 出願書類は、封筒の表に「入学願書在中」と朱記し、出身中学校において一括して提出してください。(書類は、二つ折にしないでください。)

なお、郵送の場合は書留で送付してください。

(イ) 願書受付後の志望コースの変更は認めません。

(ウ) 出願手続の完了した者の受験票は出身中学校長宛に送付します。

なお、1月25日(月)までに未着の場合は、本校学生課入試・教務係(T E L 0178-27-7234)へ問い合わせてください。

(エ) 出願書類の提出先

〒039-1192 青森県八戸市大字田面木字上野平16の1
八戸工業高等専門学校 学生課入試・教務係

4. 選 抜 の 実 施 方 法

入学者の選抜は、推薦書、調査書及び面接試験の総合判定に基づいて行います。

5. 面接試験日時及び会場

(ア) 面接日及び会場 平成28年 1 月30日(土) 八戸工業高等専門学校

(イ) 面 接 時 間 集合時間等の詳細については、出身中学校長宛に通知します。

6. 推薦選抜結果の通知及び入学確約書

推薦選抜の結果は、平成28年 2 月 3 日(水)に、推薦のあった出身中学校長宛に発送します。

なお、電話等による問い合わせには応じられません。

合格内定者は、2 月15日(月)までに入学確約書を提出してください。

7. 不合格となったときの取り扱い

推薦による選抜は、第 1 志望コースのみで行いますが、これに不合格となった場合は、「学力試験による入学者の選抜」〔平成28年 2 月21日(日)実施〕の志願者となります。

したがって推薦入学志願者も学力試験受験地と、第 2 志望コース、第 3 志望コース、第 4 志望コースがある場合は必ず入学願書及び調査書の所定の欄に記入してください。提出後に志望コース（第 2 志望、第 3 志望、第 4 志望を含む）の変更はできません。

この場合、出願書類及び検定料を再提出する必要はありません（手続きは一切必要ありません。）学力試験当日は、推薦選抜の際に使用した「受験票」を持参して受験してください。

8. 合格者の発表

平成28年 2 月26日(金)10時に受験番号を本校に掲示するとともに、本校のホームページに掲載します。また、出身中学校長に「合格通知書」等を発送します。

なお、電話等による問い合わせには、応じられません。

B. 学力試験による入学者の選抜

1. 出 願 資 格

- (1) 中学校を卒業した者。（平成28年 3 月卒業見込みの者を含む。）
- (2) 中等教育学校の前期課程を修了した者。（平成28年 3 月修了見込みの者を含む。）
- (3) 中学校卒業者と同等以上の学力があると認められた者。（学校教育法施行規則第95条）

2. 出 願 手 続

(1) 入学願書受付期間

平成28年 2 月 4 日(木)から 2 月10日(水)まで（郵送の場合も、期間内必着とします。）

受付時間は、9 時から16時まで。

(2) 出願に必要な書類等

出願に必要な書類等は次のとおりです。

なお、①から⑤までの書類は本校所定の用紙（②調査書、⑤成績一覧表については記入要領の条件を満たしたもの。）を使用してください。

書 類 等	摘 要
① 入学願書・写真票・受験票	写真票に貼付する写真は、 平成27年11月以降 に撮影した上半身、脱帽、正面向きの縦6cm×横4.5cmの大きさのもの。
② 調 査 書	本校所定の用紙を使用し、出身中学校長が作成したもの。
③ 返 信 用 封 筒	受験票送付用ですから、本校所定の封筒に 82円切手 を貼付してください。(願書を持参する場合も同様です。)
④ 検 定 料	16,500円 (納入期間 平成28年1月25日(月)～平成28年2月10日(水)) 本校所定の「入学検定料振込依頼書」により銀行等に振込み、銀行等から受け取った「入学検定料領収書・受付証明書」を「入学検定料領収書・受付証明書貼付票」に貼り付けて提出すること。
⑤ 成 績 一 覧 表	本校所定の用紙を使用し出身中学校長が作成したものとし、1校につき1部提出してください。 ただし、本校の推薦選抜志願用に提出した場合、及び過年度卒業生の場合は、提出の必要はありません。

(注) ③で複数の志願者分をまとめて送付希望される中学校については、別途、返信用封筒を作成し、充当する切手を貼付して提出してください。

(3) 出願の方法等

- (ア) 出願書類は、封筒の表に「**入学願書在中**」と朱記し、出身中学校において一括して提出してください。(書類は、二つ折にしないでください。)
 なお、郵送の場合は**書留**で送付してください。
- (イ) 願書受付後の志望コースの変更は認めません。
- (ウ) 出願手続の完了した者の受験票は出身中学校長宛に送付します。
 なお、**2月16日(火)**までに未着の場合は、本校学生課入試・教務係(T E L 0178-27-7234)へ問い合わせてください。
- (エ) 出願書類の提出先

〒039-1192 青森県八戸市大字田面木字上野平16の1
 八戸工業高等専門学校 学生課入試・教務係

3. 選抜の実施方法

- (1) 入学者の選抜は、学力試験と調査書の総合判定に基づいて行います。
- (2) 出題する教科は、**理科、英語、数学、国語、社会の5教科**で、解答はマークシート方式です。
 黒鉛筆(HB)を用意してください。ただし、雪害や事故等により正規の時間帯に試験が実施されない場合には、日程等を変更し、記述式となることがあります。

4. 学力試験日時及び会場

- (1) 学力試験日時

2月21日(日)	9:30～10:20	10:40～11:30	11:50～12:40	13:30～14:20	14:40～15:30
	理 科	英 語	数 学	国 語	社 会

- (2) 学力試験の会場

- ① 八戸試験場 八戸工業高等専門学校
- ② 青森試験場 アピオあおもり(青森市中央3丁目17-1)
- ③ 弘前試験場 弘前市総合学習センター(弘前市大字末広4丁目10の1)

(3) 受験上の注意

- ① 受験者は、学力試験当日 9 時 10 分までに指定された試験室に入室してください。
- ② 受験票に記載してある「受験者心得」をよく読んでおいてください。

5. 合格者の発表

平成28年 2 月 26 日(金)10時に学力試験合格者の受験番号を本校に掲示するとともに、本校のホームページに掲載します。また、出身中学校長に「学力試験合格通知書」を送送します。

なお、電話等による問い合わせには、応じられません。

6. 入学意志確認

学力試験の合格者に対し、入学の意志を確認するため面接を行います。

なお、当日、面接を欠席した者は、入学の意志がないものとして合格を取り消します。

(ア) 面接日及び会場 平成28年 3 月 10 日(木) 八戸工業高等専門学校

(イ) 面 接 時 間 集合時刻等の詳細については、出身中学校長宛に通知します。

7. 合格の通知

上記の入学意志確認を経て、当日「合格通知書」を本人に交付します。

8. 入学確認書の提出

学力試験の合格者に対して、日程の関係上、入学意志の有無を速やかに確認する必要がありますので、出身中学校長は 3 月 15 日(火)12 時までに合格者の意志を確認の上、入学確認書を FAX で提出してください。なお、入学確認書の用紙は、学力試験合格通知の際にお送りします。

Ⅲ. 追 加 合 格

追加合格の有無については、3 月 17 日(木)16 時にホームページでお知らせします。

追加合格を行う場合は、追加合格者に対して出身中学校に電話等で連絡しますので、その際に確実に連絡がとれるような措置を講じておいてください。

Ⅳ. 入学手続等

1. 合格者に対して、平成28年 3 月 17 日(木)10時から入学手続を行うとともに、学校の概要等についても説明しますので、保護者同伴で出席してください。
2. 当日出席しない者及び入学料を納入しない者（入学料免除等の申請者を除く）は、入学の意志がないものとして取り扱います。
3. 詳細については、合格通知の際に連絡します。

Ⅴ. 身体に障害を有する者等で入学を志願する場合の事前連絡

各中学校長は、難聴者、弱視者、その他身体の不自由な者等で、学力試験の受験及び入学後の指導に当たって、特に配慮する必要がある者については、あらかじめ本校校長に直接その事情を連絡し、別に、次の事項を記入した「身体等の状況の記録」を作成し、医療機関が発行した健康診断書など、「身体等の状況の記録」に記載した内容を証明する書類を添付して提出すること。

(ア) できるだけ詳細な身体等の状況及び中学校で配慮している措置

(イ) 受験に当たって配慮してほしい措置

(ウ) 入学後、本校において特に配慮する必要がある措置又は指導上留意すべき事項

提出の時期 推薦選抜志願者 平成27年12月 3 日(木)まで

学力選抜志願者 平成28年 1 月 15 日(金)まで

提出先 八戸工業高等専門学校 学生課入試・教務係 TEL (0178) 27-7234

Ⅵ. 個人情報の取り扱いについて

入学志願者から提出された入学願書や調査書等に記載されている情報及び選抜に用いた試験成績・評価といった入学者選抜を通じて取得した個人情報は、入学者選抜の資料として利用するとともに、次の目的のためにも利用します。

- (1) 入学後の教育・指導
- (2) 入学料、授業料の免除申請の審査
- (3) 奨学金申請の審査
- (4) 本校及び国立高等専門学校全体の教育制度・入学者選抜制度の改善のための調査・研究

Ⅶ. 学力試験による入学者選抜を受験した者の入試成績の開示

受験者が希望する場合、下記により入試成績の開示を行います。

1. 申請者

学力試験による入学者選抜の受験者本人に限ります。（代理人による申請は認めません。）

2. 開示内容

学力試験の科目別得点

（注）推薦による選抜は、この制度による開示の対象となりませんので注意してください。

3. 申請期間

平成28年 3 月 4 日(金)から 4 月28日(木)までとします。

（土曜日、日曜日及び祝日を除き、9：00～12：00、13：00～16：00）

4. 申請に必要な書類

- ① 八戸工業高等専門学校入試成績開示申請書
- ② 本校受験票

（注）入試成績開示申請書は、本校ホームページからプリントアウトすることができます。

5. 申請方法

開示を請求する受験者本人が来校し、本校の受験票（コピーは不可）を提示し、学生課の窓口で申請してください。

6. 開示の方法

本人が来校し窓口で申請した場合には、原則として申請した日に文書により開示します。ただし、申請者が多数の場合は、当日のうちに開示できないことがあります。

7. 郵送による申請

- ① 遠隔地に居住する等の理由で本人が来校することができない場合は、郵送でも受け付けますので「4 ①の申請書、本校の受験票（コピーは不可）、返信用封筒」を同封してください。（4月28日(木)消印有効。）
- ② 返信用封筒（開示通知書送付用）
長形3号の封筒に、本人の郵便番号・住所（入学願書に記載されている住所に限る。）・氏名を明記の上、512円分の切手を貼ってください。
- ③ 郵便により申請した場合には、提出された返信用封筒を使用し郵送により開示します。（1週間程度日数がかかる場合があります。）

8. 問い合わせ先 及び 郵 送 先

〒039-1192 八戸市大字田面木字上野平16-1

八戸工業高等専門学校 学生課入試・教務係 TEL 0178-27-7234

学 習 ・ 教 育 到 達 目 標

本校では次の6つの学習・教育到達目標を設定していますが、これらは「豊かな人間性の涵養」、「工学知識・技術の修得」、「地域社会への貢献」、「コミュニケーション能力の習得」の4つの骨格からなり、これらを有機的に結びつけているのが本校の伝統となっている校訓「誠実・進取・協調」であり、精神的支柱の役割も果たしています。6つの学習・教育到達目標は、講義、演習、実験・実習、卒業研究・特別研究、校外実習・学外研修などカリキュラムを基礎とする教育活動で十分な達成が図られます。学習・教育到達目標の達成を可能にするため目標ごとに具体的な行動基準をそれぞれ設定しており、学習に取り組む際のめあてにしております。

A. 豊かな人間性の涵養

国際的視野に立ち、地球環境や人類社会に及ぼす技術の影響を理解し、またその責任を自覚できる、誠実で健全な心身を養う。

B. 工学知識・技術の修得

(B-1) 数学・自然科学の知識・情報処理技術の修得

数学、自然科学の基礎知識と実験・測定技術および情報処理技術を修得し応用できる。

(B-2) 専門知識の修得

得意とする専門分野の知識と技術を修得し、「連峰型教育」を活かした複合的専門基礎知識も身につける。

C. 地域社会への貢献

(C-1) デザイン能力とものづくり能力

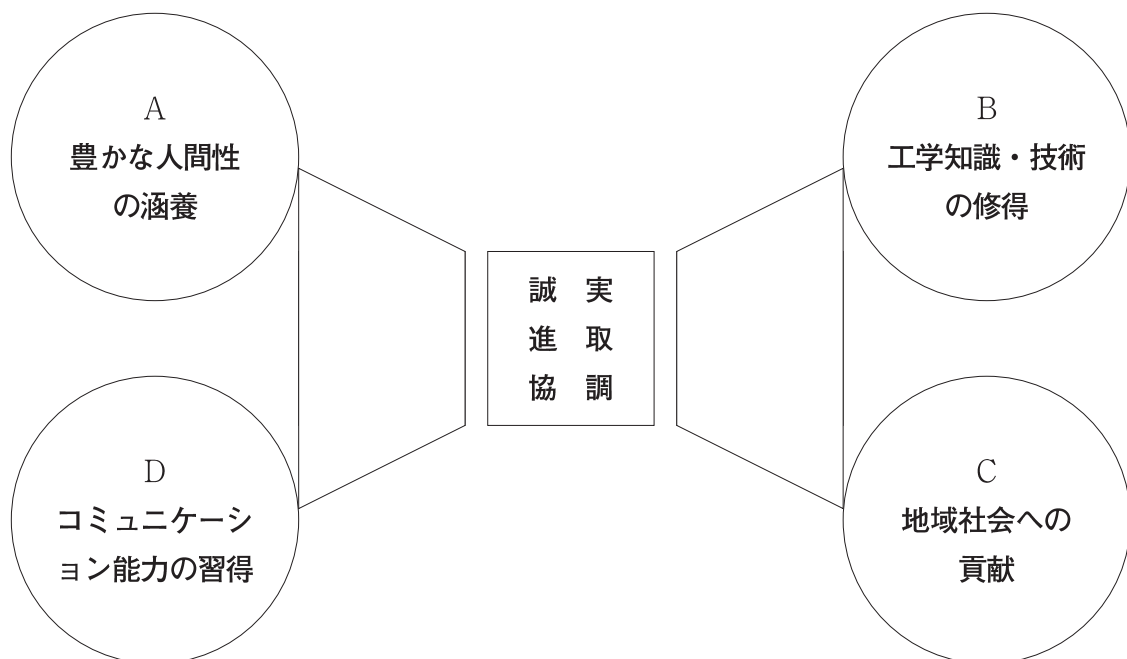
協調性を発揮し、技術を創造・開発またはシステム化できるデザイン能力とものづくり能力を修得する。

(C-2) 地域社会への貢献

北東北の重点課題であるエネルギー、環境の問題に関心を持ち、それらの課題に積極的に取り組む、進取の姿勢を身につける。

D. コミュニケーション能力の習得

意思を明晰に相互伝達する日本語力と、国際社会に対応できる英語基礎力を身につける。



八戸高専 学習・教育到達目標

入 学 案 内

1. 本校の目的と性格

本校は「深く専門の学芸を教授し、職業に必要な能力を育成すること」を目的とし、中学校卒業程度を入学資格とする5年制の技術者養成のための高等教育機関です。本校は、5年間を通じ一貫した教育課程により、効果的に一般教育を実施するとともに、充実した専門教育を行っています。

2. 創 設 昭和38年4月1日

3. 修業年限・学生定員等

学科／ コース	産業システム工学科				合 計
	機械システム デザインコース	電気情報 工学コース	マテリアル・ バイオ工学コース	環境都市・建築 デザインコース	
修 業 年 限	5 年	5 年	5 年	5 年	—
学 級 数	1	1	1	1	—
募 集 人 員	40人	40人	40人	40人	160人
学生総定員	200人	200人	200人	200人	800人

4. コースの紹介

＜機械システムデザインコース＞ Mechanical Systems Design Course

機械システムデザインコースでは、機械工学の知識・技術を基に、世の中の役に立つ機械やそのシステムを創造・設計（デザイン）し、製造し、さらに維持管理する技術者を育成します。

機械工学で扱う対象は自動車、鉄道、航空機、船舶、工作機械やロボット、そしてカメラ、テレビ、家電製品、医療・福祉機器、農業機械、土木建設機械、また石油・ガスパラント、発電設備など広範囲に渡ります。食品や医薬品などを生産するためにも機械システムは必要ですから、機械工学はすべての産業を支えるきわめて重要な学問といえます。

機械システムを実現するための第一段階は、機械に求められる性能や機能を満足するように、システムを設計し製作図面を描くこと、すなわちデザインすることです。授業では、製図の基礎、コンピュータを利用した図面作成（CAD）、図面に基づいた機械製法やコンピュータ制御工作機械による加工法（CAM）を学びます。さらに、システムの最適な設計や制御を行うのに必要な工学基礎科目や高度な専門科目等を学びます。また4・5学年では、エネルギーを変換・利用する知識や技術を習得する「機械・エネルギーシステム履修コース」とロボットやメカトロニクスに関する知識や技術を習得する「知能機械システム履修コース」のいずれかを選択して学びます。創造性を涵養するために、「自分で創って学ぶ」授業と実験・実習・卒業研究を重視した「ものづくり教育」が本コースの特徴です。このように機械システムデザインコースでは、発想を形にできる創造性豊かなエンジニアの育成を目指しています。

＜電気情報工学コース＞ Electrical and Computer Engineering Course

あらゆる産業や生活の中に電気・電子と情報の先端技術が急速に浸透してきています。電気情報工学コースでは社会のニーズに応えるため、これらの先端技術を支える電気電子工学と知能情報工学の基礎から応用までを学習し、将来幅広い分野で活躍できるようにしています。

1～3年生の低学年においては電気・電子系の基礎科目と知能情報技術の基礎科目を学びます。4～5年生の高学年では電気電子システム履修コースと知能情報システム履修コースに分かれて、それぞれのカリキュラムでより専門的な内容を学びます。電気電子システム履修コースでは、エ

エネルギーの発生、輸送、消費までの過程、さらにその周辺を学ぶ電力システム工学や、コンピュータを構成するLSI、テレビ・オーディオを構成する電子回路などに必要な電子工学（エレクトロニクス）などを学びます。知能情報システム履修コースではソフトウェアの設計法、コンピュータの設計、情報ネットワークなどの情報通信技術、知能デジタル回路の設計や信号処理技術などを学びます。両コース共通で学ぶ内容としてはロボットのコントロールや、コンピュータを組み込む電子機器の基礎知識、グラフィックス技術や電子デバイス技術などがあります。特に実験や実習には力を入れ、新しい「もの」を創造できるエンジニアの養成を目指しています。

このように本コースでは、幅広い視野と豊かな人間性をそなえ、電気電子並びに知能情報システムの基礎とその応用分野に関する知識と技術を身につけ、創造力あふれた、ものづくりに強い実践的技術者を育成することを目標にしています。

＜マテリアル・バイオ工学コース＞ Material and Biological Engineering Course

有用な物質や優れた材料は、人間生活と産業の基盤です。本コースでは、物質や環境・生物に関する知識や技術を系統的に学習するとともに、材料組織学、材料強度学等の科目を履修することで、新素材開発に必要な金属・材料に関する知識・技術を学ぶことができます。また、バイオテクノロジーは極めて複雑な物質でも、常温・常圧の温和な条件のもとで選択的に有用物質を私たちに供給してくれることがわかり、省資源・省エネルギー型の物質生産の道が開かれつつあります。

マテリアル工学またはバイオ工学のいずれかについての知識を体系的に学習するとともに、生物工学を含む化学・材料工学とその応用分野に関する実践的技術を習得することができます。第4学年以降では、材料工学を主体としたマテリアルコースと、生物機能利用を主体とする生物コースに分かれて深く学習します。さらには、他の専門分野の基礎知識や専門横断の科目を学習することにより、マテリアル・バイオ工学分野を中心に複合的な課題にも取り組むことができる実践的・創造的技術者を育成することを目的としています。

＜環境都市・建築デザインコース＞ Civil Engineering and Architectural Design Course

私達が安全・安心かつ健康的に毎日の生活を送るためには、道路・橋・鉄道・港湾・上下水道・住宅・病院・学校などの社会資本整備が必要です。その資本整備の際には、様々な変化に対応することが求められるようになりました。例えば地球的規模では低環境負荷や省エネルギーといった環境性能が、また都市や地方の社会・生活環境では少子高齢化や人口減少など構造的変化に対し、創造力豊かな「ものづくり」を提案できるデザイン力が要請されています。

本コースでは、このような整備のための技術やシステムをグローバルに学び、創造的にデザインする実践的技術者を育成するためのカリキュラムを用意しています。また、高学年からはより専門的分野の履修が可能となり、従来の社会基盤整備・システムに関する環境都市分野に加え、H21年度から導入している建築デザイン分野の拡充もいたしました。建設・防災・環境・計画・建築をキーワードとして、それぞれの分野に関する知識と技術を身に付け、創造力あふれた「ものづくり」に強い実践的技術者を育成するためのカリキュラムが用意されています。

平成23年3月11日に発生した東日本大震災では、多くの尊い人命が奪われ、社会資本も甚大な被害を受けました。社会基盤整備を専門とする技術者として、自然災害の多い国土保全・防災そして創造的復興という大きな課題に向け、1日も早く安全・安心に暮らせる都市環境づくりを実現するのは未来の創造的技術者の手にかかっています。

※「人材復興枠」の廃止

環境都市・建築デザインコースでは「復興人材枠」を設定し優先的に受け入れをしてきましたが、平成28年度より、この復興枠を廃止します。

5. 課外活動

学生会には、下記のクラブ（部）があり、顧問教員等の指導のもとに活発な活動をしています。

文化系クラブ：科学・自動車工学・写真・音楽・吹奏楽・電子情報工学・華道・書道・美術・放送・演劇・インターナショナルフレンドシップ・総合デザイン

体育系クラブ：陸上競技・バスケットボール(男・女)・バレーボール(男・女)・ソフトテニス・卓球・柔道・剣道・硬式野球・サッカー・水泳競技・テニス・バドミントン・ラグビーフットボール・ハンドボール・空手道・山岳・弓道

また、委員会としては文化委員会・体育委員会・行事委員会のほか高専祭実行委員会等があり、それぞれ自主的に活動しています。

さらに、ロボットコンテスト・プログラミングコンテスト・デザインコンペティション・英語プレゼンテーションコンテストなどに積極的に参加し、全国大会に数多く出場しています。

6. 学 寮

本校の学寮は、規律ある共同生活を体験する教育寮です。

(1) 1・2学年男子の全寮制について

本校に入学する男子学生は、第2学年まで学寮において共同生活を体験することになっています。ただし、疾病その他の理由により共同生活に適さないと認められた者は入寮できないことがあります。また、自宅通学を希望する場合及びその他事情がある場合は申請により入寮を免除することがあります。

(2) 3～5学年・専攻科男子及び女子の入寮について

希望者の中から選考して入寮を許可しています。

(3) 入寮状況について

平成27年度の入寮者数は次のとおりです。

(平成27年4月1日現在)

	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	専攻科1年	専攻科2年	計
男 子	87人	102人	63(3)人	53(1)人	50(1)人	0 人	0 人	355(5)人
女 子	29人	11人	24(4)人	12(1)人	9(1)人	0 人	0 人	85(6)人
合 計	116人	113人	87(7)人	65(2)人	59(2)人	0 人	0 人	440(11)人

()は内数で留学生を示す。

7. 入学時に必要な予定経費

(1) 入 学 料 84,600円

(2) 授 業 料 前期分 117,300円 (年額 234,600円)

在学中に改定が行われた場合は、新授業料が適用されます。

(3) 寄 宿 料 月 額 700円 (年額 8,400円) (寮生のみ)

(4) 学寮諸経費(運営費・給食費) (寮生のみ)

・学寮運営費 年 額 約74,000円 (年2回(4月・10月))

・給食費 月 額 約20,000円 (毎月給食業者へ納入)

(5) 教科書・教材費 約50,000円～60,000円 (コースによって多少違います。)

(6) その他諸経費 約40,000円 (学生会入会金など)

(7) 服 装 費 約6,000円 (作業服など)

(8) 制 服 男 子 約50,000円

〃 女 子(ブラウス付) 約63,000円

8. 入学料・授業料及び寄宿料免除制度

- (1) 入学前1年以内において、学資負担者が死亡又は風水害等の被災により、入学料の納付が著しく困難であると認められた場合は、本人の申請に基づき、選考のうえ入学料を免除（全額又は半額）する制度があります。（※倒産・リストラ等は該当しません。）

また、上記の事由に加え経済的理由で入学料の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められた場合には、入学料の徴収を一時的に猶予する制度もあります。

- (2) 経済的理由又は風水害等の災害により、授業料の納付が困難であり、かつ、学業・人物共に優秀と認められた場合は、本人の申請に基づき、選考のうえ授業料を免除（全額又は半額）する制度があります。

- (3) 学生又は学資負担者が風水害等の災害を受け、寄宿料の納付が困難であると認められた場合は、災害当月の翌月から当該年度末までの範囲内の寄宿料(月額700円)を免除する制度があります。

9. 奨学金制度

成績優秀であって経済的理由によりこれを希望する者には、選考のうえ日本学生支援機構等の奨学金が貸与されます。なお、本校では約30%の学生が奨学生として採用されています。

(平成27年7月1日現在)

奨 学 生 の 種 類			月 額			
			本 科 1 ～ 3 学 年		本科 4 ・ 5 学年および専攻科生	
日本学生 支援機構	第一種 奨学生	自 宅	21,000円	または 10,000円	45,000円	または 30,000円
		自宅外	22,500円		51,000円	
		第二種奨学生	—————			3 万 ・ 5 万 ・ 8 万 ・ 10 万 ・ 12 万から選択
そ の 他 の 奨 学 生			地方公共団体、交通遺児育英会など			
本校奨学金奨学生			給付制 在学中 1 回 250,000円（特別奨学生は300,000円）			
合 計						

10. 高等学校等就学支援金制度

公立高等学校に係る授業料の不徴収及び高等学校等就学支援金の支給に関する法律」における高等学校等就学支援金について、高等専門学校もこの制度の対象に含まれており、本校では1～3年生を対象に、保護者の所得に応じて支給されます。（下図参照）。

※就学支援金は学生本人（保護者等）が直接受取るものではありません。学校が学生本人に代わって国から就学支援金を受取り、授業料に充当するものです。授業料と就学支援金との差額分については学生本人に負担していただくことになります。なお、授業料は年間234,600円（月額換算19,550円(a)）です。

市町村民税所得割額 (保護者等合算額)	新制度（平成26年度入学生から適用）	
	就学支援金支給額(b)	授業料本人負担額(a)－(b)
30万4200円以上	月額 0円（支給なし）	月額 19,550円
15万4500円以上～30万4200円未満	月額 9,900円（一律支給のみ）	月額 9,650円
5万1300円以上～15万4500円未満	月額 14,850円（加算額 4,950円）	月額 4,700円
0円（非課税）～ 5万1300円未満	月額 19,550円（加算額 9,650円）	月額 0円

11. 卒業後の進路等

(1) 卒業後に取得できる主な資格

本校を卒業すると工業関係技術者等の各種資格が取得できます。その主な資格は次のとおりです。

● 各コース共通

- 卒業と同時に経済学に該当する科目の単位修得者は、税理士試験の受験資格が得られます。
- 卒業後7年以上安全に関する実務経験を有する者は、労働安全コンサルタント試験の受験資格が得られます。
- 卒業後7年以上衛生に関する実務経験を有する者は、労働衛生コンサルタント試験の受験資格が得られます。
- 卒業後定められた講習を修了した者は、衛生工学衛生管理者の資格が得られます。
- 卒業と同時に準学士の称号が授与されます。

● 機械システムデザインコース

- 卒業後6月以上整備作業に関する実務経験を有する者は、三級自動車整備士の受験資格が得られます。
- 卒業後4年以上発電用のボイラー、蒸気タービン、ガスタービン又は燃料電池設備（最高使用圧力が18キロパスカル以上のもの）工事等の実務経験を有する者は、第2種ボイラー・タービン主任技術者免状が得られます。
- 卒業後圧力5880キロパスカル以上の発電用のボイラー又は蒸気タービン工事等の実務経験4年以上を含む8年以上の実務経験を有する者は、第1種ボイラー・タービン主任技術者免状が得られます。

● 電気情報工学コース

電気情報工学科の教育課程において、特に定められた科目を修得した者については、次の資格が得られます。

- 卒業後2年以上電圧500ボルト以上の電気工作物工事等の実務の経験を有する者は、第3種電気主任技術者免状が得られます。
- 卒業後5年以上電圧1万ボルト以上の電気工作物工事等の実務の経験を有する者は、第2種電気主任技術者免状が得られます。

● マテリアル・バイオ工学コース

- 卒業と同時に毒物劇物取扱責任者となる資格が得られます。
- 卒業（若しくは化学に関する科目15単位以上修得）と同時に甲種危険物取扱者試験の受験資格が得られます。
- 卒業と同時に火薬類製造保安責任者試験の試験科目が一部免除されます。
- 卒業後5年以上の実務経験を有し、その後認定講習を修了した者は公害防止管理者の受験資格が得られます。（大気関係・水質関係3種、公害防止主任管理者は実務経験7年以上必要）また、大気関係・水質関係1種の受講については技術資格が必要です。
- 卒業後1年以上労働衛生の実務経験を有する者は、作業環境測定士試験の受験資格が得られます。
- 卒業後2年以上の実務経験を有し、その後受講資格指定講習及び認定講習を修了した者は、廃棄物処理施設技術管理者の資格が得られます。

● 環境都市・建築デザインコース

- 測量に関する科目を修めた者は、卒業と同時に測量士補となる資格が得られます。また、卒業後3年以上測量の実務経験を有する者は、測量士となる資格が得られます。
- 卒業後2年以上土木工事の実務経験を有する者は、2級土木施工管理技術検定の受験資格が得られます。また、5年以上の実務経験を有する者は、1級土木施工管理技術検定の受験資格が得られます。
- 指定科目を修得し卒業した者は、2級・木造建築士試験の受験資格が得られます。また、2級建築士として設計その他の国土交通省令で定める実務の経験を4年以上有する者は、1級建築士試験の受験資格が得られます。
- 卒業後3年以上水力設備工事等の実務の経験を有する者は、第2種ダム水路主任技術者免状が得られます。また、高さ30メートル以上のダム工事等実務の経験5年以上を含む8年以上の実務の経験を有する者は、第1種ダム水路主任技術者免状が得られます。

(2) 進 学

本校を卒業後、さらに勉学を続けたい学生は、高専の専攻科や大学の3年次へ進む道があり、昨年度の本科卒業生の約45%が進学しています。

大学進学希望者の進学率は100%です。

本校では2002年4月に専攻科が設置されました。高専専攻科（2年間）は大学よりも学費が安く、大学3年次へ編入学した場合と同様に学士（工学）の学位を取得できます。

また、専攻科修了後は大学院に進むことができ、本校卒業生の進学者は増える傾向にあります。

● 専攻科・大学への入学・編入学状況

進 学 先	年度ごとの進学者数				
	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度
八戸高専専攻科	28	25	18	32	40
北海道大学				1	3
室蘭工業大学	1				1
弘前大学	3			2	
岩手大学	4	4	3	2	3
東北大学		1	2	3	3
秋田大学	1	1			2
山形大学	1	1		1	
福島大学					1
茨城大学				1	
筑波大学				4	1
宇都宮大学				1	1
群馬大学			1		
千葉大学	1	1	4		
東京農工大学	2	1	1	3	1
東京工業大学				1	2
お茶の水女子大学				1	
電気通信大学			2	1	
横浜国立大学			1		
新潟大学			1		2
長岡技術科学大学	2	8	8	6	7
信州大学		3	1	3	
静岡大学				1	
豊橋技術科学大学	8	4	15	4	3
神戸大学			1		
和歌山大学	1				
宮崎大学		1			
琉球大学				1	
札幌市立大学		2			
群馬県立女子大学			1		
東北学院大学	1			1	
日本大学				2	1
姫路獨協大学				1	
立命館アジア太平洋大学	1				
セントラルミズーリ州立大学	1				
グリフィス大学ゴールドコースト校			1		
合 計	55	52	60	72	71

● 専攻科から大学院への進学状況

進 学 先	年度ごとの進学者数				
	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度
北海道大学大学院		2	1	1	1
東北大学大学院		1	1	4	4
山形大学大学院					1
宇都宮大学大学院		1			
筑波大学大学院				1	
東京農工大学大学院	1				
東京大学大学院					2
東京工業大学大学院			2	3	
長岡技術科学大学大学院					1
大阪大学大学院				1	
九州大学大学院				1	
静岡県立大学大学院	1				
合 計	2	4	4	11	9

● 平成28年度専攻科入学・大学編入学の合格状況（平成27年 9月16日現在）

大 学 等	合格者数	大 学 等	合格者数
八戸高専専攻科	49	東京工業大学	1
北海道大学	1	金沢大学	1
室蘭工業大学	1	信州大学	1
岩手大学	10	広島大学	1
東北大学	2	長岡技術科学大学	4
茨城大学	1	豊橋技術科学大学	7
宇都宮大学	1	岩手県立大学	2
埼玉大学	1	首都大学東京	1

● 平成28年度大学院入学の合格状況（平成27年 9月16日現在）

大 学 等	合格者数	大 学 等	合格者数
北海道大学大学院	1	東北大学大学院	9
筑波大学大学院	1	東京工業大学大学院	4

● 学士取得可能な国立高専専攻科と編入学制度を実施している主な国立大学一覧

高 専 専 攻 科	関 東 地 区	中国・四国・九州地区
八戸高専専攻科 一関高専専攻科 仙台高専専攻科 秋田高専専攻科 鶴岡高専専攻科 福島高専専攻科 他 多数	茨城大学 筑波大学 宇都宮大学 群馬大学 埼玉大学 千葉大学 東京大学 東京農工大学 東京工業大学 電気通信大学 横浜国立大学	鳥取大学 島根大学 岡山大学 広島大学 山口大学 徳島大学 香川大学 愛媛大学 高知大学 九州大学 九州工業大学 佐賀大学 長崎大学 熊本大学 大分大学 宮崎大学 鹿児島大学 琉球大学
北 海 道 地 区	中 部・近 畿 地 区	
北海道大学 北海道教育大学 室蘭工業大学 帯広畜産大学 北見工業大学	新潟大学 長岡技術科学大学 富山大学 金沢大学 福井大学 山梨大学 信州大学 岐阜大学 静岡大学 名古屋大学 名古屋工業大学 豊橋技術科学大学 三重大学 京都大学 京都工芸繊維大学 大阪大学 神戸大学 和歌山大学	
東 北 地 区		
弘前大学 岩手大学 東北大学 秋田大学 山形大学 福島大学		

(3) **就 職**

本校卒業生の就職はきわめて順調です。

卒業生は、優良企業や官公庁に入り、前途有望な技術者としての評価を受けています。昨年度の本科卒業生の57%が就職しています。

各企業からの求人数は多く、就職希望者の就職率は100%です。

就職に当たっては、多年の実績を活かした指導が行なわれています。

● 求人就職状況（平成27年3月卒業者）

（ ）は女子内数を示す。

学 科 名	卒 業 者 数	就 職 希 望 者 数	求 人 数	就 職 者 数	求 人 倍 率	就 職 率
機械工学科	46(5)人	31(4)人	662人	31(4)人	21.4倍	100%
電気情報工学科	46(6)人	25(5)人	678人	25(5)人	27.1倍	100%
物質工学科	42(2)人	20(10)人	376人	20(10)人	18.8倍	100%
建設環境工学科	35(10)人	20(7)人	460人	20(7)人	23.0倍	100%
計	169(43)人	96(26)人	2,176人	96(26)人	22.7倍	100%

● 本校卒業生の主な就職先（平成24年度～26年度）

機 械 工 学 科
(機械システムデザインコース)

(株)I H I
出光興産(株)
ANAラインメンテナンステクニクス(株)
(株)エヌ・ティ・ティ エムイー
エプソンアトミックス(株)
オークマ(株)
キヤノン(株)
北日本機械(株)
(株)クレオ
独立行政法人国立印刷局
(株)小松製作所
J F E スチール(株)
JX日鉱日石エルエヌジー・サービス(株)
住友化学(株)
住友電工電子ワイヤー(株)
セイコーエプソン(株)
竹田設計工業(株)
中発テクノ(株)
(株)D R D
DMG森精機(株)
東芝プラントシステム(株)
東京ガス(株)
東京水道サービス(株)
東京鉄鋼(株)
東北電力(株)
(株)トノックス
トヨタ自動車(株)
(株)ニコン
日進工具(株)
ニプロ(株)
日本原燃(株)
日本たばこ産業(株)
八戸セメント(株)
東日本高速道路(株)
日立アロカメディカル(株)
三井金属エンジニアリング(株)
三菱重工業(株)
三菱製紙(株)
森永乳業(株)
山本精機(株)

電気情報工学科
(電気情報工学コース)

アイリスオーヤマ(株)
味の素(株) 川崎事業所
(株)アドバンテスト
(株)エヌ・ティ・ティ エムイー
エプソンアトミックス(株)
キヤノン(株)
KDDIエンジニアリング(株)
コスモシステム(株)
(株)小松製作所 郡山工場
(株)小松製作所 栃木工場
サクサシステムエンジニアリング(株)
産業振興(株)
JFEスチール(株) 東日本製鉄所
住友電工電子ワイヤー(株)
セイコーエプソン(株)
ダイキン工業(株)
中部電力(株)
テコム(株)
東芝 I T サービス(株)
東芝メディカルシステムズ(株)
東北インテリジェント通信(株)
東北電力(株)
(株)豊田中央研究所
(株)ニコン
日本原燃(株)
日本たばこ産業(株)
日本電設工業(株)
日本放送協会(N H K)
八戸製錬(株)八戸製錬所
(株)日立アドバンストシステムズ
(株)日立メディコ
弘前航空電子(株)
北海道電力(株)
北海道旅客鉄道(株)
三菱製紙(株)八戸工場
メタウォーター(株)
(株)リコー
(独)国立印刷局
(財)東北電気保安協会
八戸市庁

物 質 工 学 科
(マテリアル・バイオ工学コース)

アクロス(株)
アルプス電気(株)
出光興産(株)
エプソンアトミックス(株)
極東石油工業合同会社
(株)金星
(株)クレハ
(株)産業公舎・医学研究所八戸分室
三洋化成工業(株)
塩野義製薬(株)
シオノギ分析センター(株)
JNC石油化学(株) 市原製造所
JX日鉱日石エネルギー(株)
中央技術研究所
JX日鉱日石エルエヌジー・サービス(株)
新興プランテック(株)
住友化学(株) 三沢工場
第一三共ケミカルファーマ株式会社
第一三共プロファーマ(株)
田中貴金属グループ
大日精化工業(株)
(株)ツムラ
D I C(株)
(株)テクノカルチャー
東新工業(株)横浜工場
東燃化学合同会社
東燃ゼネラル石油(株)
東北緑化環境保全(株)
東洋インキSCホールディングス(株)
日本原燃(株)
(株)日本色材工業研究所
(株)日本触媒
日本ゼオン(株)川崎工場
八戸セメント(株)
富士石油(株)
丸善石油化学(株)千葉工場
むつ小川原石油備蓄(株)
(株)明治 群馬栄養食工場
Meiji Seikaファルマ(株)
森永乳業(株) 利根工場
吉野電化工業(株)

建設環境工学科
(環境都市・建築デザインコース)

(株)アオモリパイル
(株)岩沢測量コンサル
エヌ・ティ・ティ・インフラネット(株)
(株)エヌ・ティ・ティ エムイー
(株)片平エンジニアリング
(株)クリタス
建装工業(株)
電源開発(株)
東海旅客鉄道(株)
東京ガス(株)
東京水道サービス(株)
東京地下鉄(株)
(株)東京鐵骨橋梁
東北電力(株)
(株)日水コン
(株)N I P P O
(株)ネクスコ東日本エンジニアリング
(株)ピーエス三菱
フジテック(株)
東日本高速道路(株)
東日本旅客鉄道(株)
北海道旅客鉄道(株)
前田建設工業(株)
三井共同建設コンサルタント(株)
三菱地所コミュニティ(株)
宮城建設(株)
国土交通省東北地方整備局
青森県庁
東京都庁
宮城県庁
仙台市役所
八戸市庁
八戸圏域水道企業団
横浜市役所

中学校別電算コード番号表

『青 森 県』

【青 森 市】 023511 造道 023512 浪打 023513 佃 023516 浦町 023517 古川 023518 甲田 023519 沖館 023520 油川 023523 荒川 023527 筒井 023528 横内 023529 新城 023534 青森西 023535 青森南 023536 青森東 023551 戸山 023552 三内 023553 青森北 024130 浪岡 【弘 前 市】 023501 弘大附属 023591 新和 023593 船沢 023594 東目屋 023595 弘前一 023596 弘前二 023597 弘前三 023598 弘前四 023599 弘前五 023600 石川 023601 北辰 023622 裾野 023623 弘前南 023624 弘前東 024050 津軽 024060 常盤野 024070 相馬 【八 戸 市】 023650 八戸一 023651 八戸二 023652 八戸三 023653 長者 023654 小中野 023655 湊 023656 白銀 023657 鮫 023658 南浜 023659 根城 023660 下長 023662 是川 023663 三条 023664 明治	023665 市川 023666 豊崎 023667 大館 023668 江陽 023669 北稜 023670 八戸東 023671 白銀南 023672 白山台 024710 中沢 024720 島守 024770 田代 【黒 石 市】 023700 黒石 023701 六郷 023702 中郷 023703 東英 【五所川原市】 023720 五所川原一 023721 五所川原三 023727 五所川原二 023728 五所川原四 024240 金木 024283 市浦 【十和田市】 023740 三本木 023742 切田 023744 大深内 023748 甲東 023765 十和田 023766 四和 023767 十和田東 024362 十和田湖 024364 十和田一 023775 三本木高校附属 【三 沢 市】 023780 三沢一 023781 三沢二 023782 三沢三 023783 三沢五 023791 堀口 【む つ 市】 023800 田名部 023801 むつ 023802 関根 023803 近川 023804 大平 023805 大湊 024504 川内 024510 大畑 024600 脇野沢	【つがる市】 023940 木造 024000 森田 024010 柏 024020 稲垣 024030 車力 【平川市】 024120 尾上 024150 平賀西 024151 平賀東 024200 碓ヶ関 【東津軽郡】 023830 小湊 023831 西平内 023832 東平内 023861 今別 023870 蓬田 023850 蟹田 023882 平館 023885 三厩 【西津軽郡】 023919 鯹ヶ沢 023960 深浦 023961 大戸瀬 023990 岩崎 【中津軽郡】 024080 西目屋 【南津軽郡】 024100 藤崎 024180 明德 024110 大鰐 024190 田舎館 【北津軽郡】 024230 板柳 024270 鶴田 024253 中里 024290 小泊 【上 北 郡】 024310 野辺地 024320 七戸 024440 天間箆 024441 榎林 024340 百石 024380 六戸 024381 七百 024393 横浜 024401 上北 024425 東北東 024426 東北 024430 下田 024431 木ノ下 024460 泊 024461 六ヶ所一	024464 千歳 024468 六ヶ所二 【下 北 郡】 024530 大間 024531 奥戸 024575 東通 024583 風間浦 024590 佐井 024593 福浦 024594 牛滝 【三 戸 郡】 024620 三戸 024632 杉沢 (三戸町) 024640 五戸 024641 川内 024732 倉石 024650 田子 024668 名川 024670 南部 (南部町) 024680 道仏 024690 階上 024700 福地 024701 杉沢 (南部町) 024752 野沢 024753 新郷
--	---	--	--

『岩 手 県』

【盛岡市】 033501 岩大附属 033511 下橋 033512 下小路 033513 厨川 033515 上田 033517 河南 033518 仙北 033519 大宮 033520 米内 033522 土淵 033527 黒石野 033529 繫 033530 城西 033531 城東 033532 北陵 033533 松園 033709 見前 033710 飯岡 033711 乙部 033712 見前南 033914 北松園 033684 玉山 033690 巻堀 033692 渋民 033906 岩手 033907 盛岡白百合学園 【花巻市】 033594 花巻 033595 南城 033596 矢沢 033597 湯本 033598 宮野目 033599 湯口 033601 西南 033603 花巻北 033713 大迫 033715 石鳥谷 033718 東和	【北上市】 033604 北上 033605 飯豊 033606 北上南 033607 北上北 033609 上野 033610 東陵 033725 和賀西 033729 和賀東 033730 江釣子 【宮古市】 033550 宮古一 033551 宮古二 033552 河南 033554 宮古西 033556 花輪 033558 津軽石 033559 重茂 033561 崎山 033825 田老一 033842 新里 033920 川井 【久慈市】 033611 久慈 033612 長内 033613 大川目 033615 夏井 033616 侍浜 033618 宇部 033619 三崎 033620 山根 033874 山形 【二戸市】 033882 福岡 033885 御返地 033903 金田一 033896 浄法寺	【八幡平市】 033681 西根 033682 西根一 033699 松尾 033900 安代 【滝沢市】 033693 滝沢南 033694 滝沢二 033695 一本木 033696 姥屋敷 033697 柳沢 033698 滝沢 【岩手郡】 033653 川口 033912 東部 033657 一方井 033661 沼宮内 033662 雫石 033669 葛巻 033670 小屋瀬 033680 江刈 【紫波郡】 033703 紫波一 033704 紫波二 033705 紫波三 033707 矢巾 033708 矢巾北 【下閉伊郡】 033803 豊間根 033804 山田 033806 岩泉 033811 釜津田 033816 小川 033823 小本 033829 田野畑 033836 普代	【九戸郡】 033849 軽米 033857 種市 033861 宿戸 033862 中野 033864 野田 033877 大野 033881 九戸 【二戸郡】 033887 一戸 033891 小鳥谷 033893 奥中山 【遠野市】 033802 宮守
--	---	---	--

入学願書

選抜区分		推 薦 ・ 学 力		受験番号		※	
推 薦 選 抜 志 望 コ ー ス			コ ー ス		学 力 試 験 受 験 地		八 戸
学 力 選 抜 志 望 コ ー ス (略 称)		第 1 志 望					青 森
		第 2 志 望	コ ー ス				
		第 3 志 望	コ ー ス				
		第 4 志 望	コ ー ス	弘 前			
志 願 者	フリガナ						男・女
	氏 名	平成 年 月 日生					
	現 住 所						
	出身中学校	(〒) TEL () -					
		(電算コード番号)					
		(校 名) 立 中学校					
		(志願者) 平成 年 月 卒業見込・卒業					
(所在地)							
	(〒) TEL () -						
保 護 者	フリガナ						
	氏 名						
	志願者との続柄	父・母・その他 ()					
者	現 住 所	志願者と同じ場合は「本人に同じ」と記入する。					
		(〒) TEL () -					

（切りはなさないでください）

写真票

選抜区分	推薦 学	薦 力	受験番号	※
推薦選抜志望コース			コース	
学力選抜 志望コース (略 称)	第1志望		コース	
	第2志望		コース	
	第3志望		コース	
	第4志望		コース	
学力試験受験地		八戸	青森	弘前
フリガナ 氏 名				男・女
平成 年 月 日生				
写真貼付 平成27年11月以降に撮影した正面向き、上半身、脱帽で縦6cm×横4.5cmの大きさのものを貼付してください。				

（切りはなさないでください）

票 驗 受

選抜区分	推薦 学	薦 力	受験番号	※	
推薦選抜志望コース			コース		
学 力 選 抜 志望コース (略 称)	第1志望		コース		
	第2志望		コース		
	第3志望		コース		
	第4志望		コース		
学力試験受験地		八 戸	青 森	弘 前	
フリガナ					男
氏 名	平成 年 月 日生				女

	月 ・ 日	時 間	教科等
推薦選抜	1 月30日(土)	指定の時刻	面 接
学力試験	2 月21日(日)	9:30～10:20	理 科
		10:40～11:30	英 語
		11:50～12:40	数 学
		13:30～14:20	国 語
		14:40～15:30	社 会

1. インクを用い楷書及び算用数字で記入してください。
2. ※欄は記入しないでください。
3. 該当箇所は○で囲んでください。
4. この受験票は大切に保管し、推薦選抜、学力試験、入学意志確認及び入学手続日の際に必ず持参してください。
5. この受験票は学力試験の際、机の上に置いてください。
6. 裏面「受験者心得」をよく読んでおいてください。
7. 推薦選抜試験は本校(八戸試験場)で行います。

受 験 者 心 得

◎推薦選抜受験者心得

1. 面接試験当日は、指定の時刻（後日通知する）の10分前までに指定された面接者控室に集合してください。
上履きは不要です。
2. 推薦選抜で不合格となった場合は、学力選抜の志願者となります。

◎学力選抜受験者心得

1. 学力試験当日は、9時10分までに指定された試験室に入室してください。
2. 上履きは不要です。帽子、オーバー類等試験に不要な物は、まとめてカバン等に入れ、机か椅子の下に置いてください。
3. 机上には受験票、鉛筆、消しゴム、鉛筆削り以外は置かないください。
4. 途中退室はできません。

◎共通心得

1. 試験開始時刻に遅刻した場合は、試験場本部で指示を受けてください。ただし、試験開始後20分以上遅刻した場合は入室できません。
2. 受験票を紛失又は忘れてきた場合は、直ちに試験場本部に申し出て、仮受験票の交付を受けてください。

※その他詳細については、入学者募集要項を参照してください。

記入上の注意

1. ※欄は、記入しないでください。
2. 該当箇所は○で囲んでください。
3. 「志望コース」欄について
 - ①「推薦による選抜」は、第1志望コースのみで行います。推薦選抜で不合格となった場合は、「学力選抜」の志願者となりますので、学力試験受験地と第2志望～第4志望コースがある場合は必ず記入してください。
 - ②「学力試験による選抜」において、第2志望～第4志望を希望する場合は、各欄に志望コース名を記入してください。
 - ③第2志望欄以下で、志望コースのない場合、その欄には斜線を引いてください。
 - ④提出後に志望コース（第2志望～第4志望を含む）の変更はできません。
 - ⑤コース名は略称の記載でかまいません。
〔略称〕機械システム・電気情報・マテリアル・都市建築

調 査 書

八戸工業高等専門学校

選 抜 区 分		推 薦 ・ 学 力						受 験 番 号		※		
推 薦 選 抜 志 望 コ ー ス			コ ー ス			学力試験受験地		八 戸 ・ 青 森 ・ 弘 前				
学力選抜志望コース (略 称)		第1志望コース				本校以外の受験校		高 校 高 校				
		第2志望コース	コ ー ス									
		第3志望コース	コ ー ス		第 1 志 望 校		本 校 ・ 上 記 の 高 校					
		第4志望コース	コ ー ス									
ふりがな						性別	入 学		学校名 (分校名)			
氏 名		平成 年 月 日生					平成 年 月 日 転入学 編入学					
平成 年 月 日		卒業見込 卒業		転入学・編 入学の記録								
各 教 科 の 学 習 の 記 録												
教 科		国 語	社 会	数 学	理 科	音 楽	美 術	保健体育	技術・家庭	英 語	計	総 計
評 定	1 年											
	2 年											
	3 年											
特 別 活 動 等 の 記 録						総 合 的 な 学 習 の 時 間 の 記 録						
学級活動						総合所見及び指導上参考となる諸事項						
生徒会活動												
学校行事												
部活動												
その他						健康等に関する特記すべき事項						
資 格 ・ 特 技						欠 席 の 状 況						
英検 級		漢検 級		数学検定 級		学 年	欠席日数	備 考				
(その他の資格等)						1 年						
						2 年						
						3 年						
作成年月日		平成 年 月 日				校 長 氏 名		印				
作成者氏名												

調査書記入要領

本校所定の用紙使用のほか、本校所定の用紙と様式・大きさが同じでパソコン等により作成されたものも可とします。(ただし、感熱紙は不可。)
また、調査書用紙は本校のホームページからダウンロードすることが可能です。

1 記入上の一般的注意

- (1) 調査書は、平成27年12月末現在で記入する。
- (2) 数字は、算用数字を用いる。
- (3) 記入する必要のない欄又は記入事項がない欄は、斜線を引く。
- (4) 「校長氏名」の欄の印は職印とする。
- (5) 選抜区分、学力試験受験地の欄は、該当する項目を○で囲む。
- (6) 「第1志望校」の欄は、該当する項目を○で囲む。**(合否には影響ありません。)**

2 各欄記入上の注意

- (1) 「氏名」の欄には、次のように記入する。
 - ア 戸籍上の氏名を記入する。
 - イ 外国人の場合、日本名による通称がある場合は、外国人の氏名とともにその下に（ ）を付して通称を記入する。
- (2) 「入学・転入学・編入学」については、生徒が第1学年に入学した年月日または転入学・編入学した年月日を記入するとともに、入学・転入学・編入学について該当する文字を○で囲む。
- (3) 「学校名」の欄には、分校の場合、学校名とともにその下に（ ）を付して分校名を併記する。
- (4) 「卒業見込・卒業」については、校長が卒業を認定する予定の年月日又は認定した年月日を記入するとともに、卒業見込・卒業について該当する文字を○で囲む。
- (5) 「転入学・編入学の記録」の欄には、以前在学していた学校名と転・編入学年を記入する。
また、海外帰国生徒については、この欄に㊦と朱書したうえ、海外在住地名、海外在住期間を〇〇年〇〇月～〇〇年〇〇月と記入する。
- (6) 「各教科の学習の記録」の欄には、次のように記入する。
 - ア 第1学年及び第2学年の各教科の評定は、指導要録に記載されたものを転記し、「計」の欄には、各学年の各教科の評定の合計を記入する。
 - イ 第3学年の各教科の評定は、次のとおりとする。
 - (ア) 原則として、平成27年12月末までの学習に基づいて記入する。
 - (イ) 評定は5段階で表し、5段階の表示は、5、4、3、2、1とする。
その表示は、中学校学習指導要領に示す目標に照らして、「十分満足できると判断されるもののうち、特に高い程度のもの」を5、「十分満足できると判断されるもの」を4、「おおむね満足できると判断されるもの」を3、「努力を要すると判断されるもの」を2、「一層努力を要すると判断されるもの」を1とする。
なお、盲学校、聾学校、養護学校中学部及び中学校特別支援学級在籍者の評定については、当該学校の評定方法により記入する。

また、他都道府県からの出願者については、当該都道府県の評定方法により記入する。

(ウ) 「計」の欄には、各教科の評定の合計を記入する。

ウ 「総計」の欄には、学年別評定の合計を記入する。

(7) 「特別活動等の記録」の欄には、次のように記入する。

ア この欄には、原則として第3学年について記入するが、第1学年、第2学年において、顕著な活動等がある場合は、そのことについても記入する。

イ 「学級活動」、「生徒会活動」、「学校行事」、「部活動」の各欄には、顕著な活動等がある場合、それらの活動状況について**具体的に記入**する。

ウ 「その他」の欄には、学校内外における**奉仕活動・表彰を受けた行為や活動等で顕著な活動**がある場合、それらの活動状況について**具体的に記入**する。

(8) 「資格・特技」の欄には、取得している資格及び特技について**具体的に記入**する。

(9) 「総合的な学習の時間の記録」の欄には、学習活動や評価の観点、生徒にどのような力が身に付いたかなどを文章で記述する。原則として、第3学年の学習に基づいて記入するが、第1学年、第2学年において顕著な取組等がある場合は、そのことについても記入する。

(10) 「総合所見及び指導上参考となる諸事項」の欄には、生徒の状況を総合的に把握する上で参考となる次のような事項などについて記入する。

ア 各教科等に関する所見

イ 行動に関する特記すべき事項及び所見

ウ 生徒の人柄や特徴に関する所見

エ 生徒の成長の状況に関わる総合的な所見

オ 無欠席、無遅刻、無早退等特筆すべき事項

カ (7)、(8)において書ききれない事項

(11) 「健康等に関する特記すべき事項」の欄には、次のように記入する。

ア 健康や身体等の状況に関し、特記すべき事項や指導上参考となる諸事項がある場合は、それを記入する。

イ 事前連絡において、「身体等の状況の記録」を提出した者については、(「身体等の状況の記録」提出)と記入する。

(12) 「欠席の状況」の欄には、次のように記入する。

ア 「欠席日数」の欄には、各学年ごとの欠席日数を記入する。

イ 同一学年において7日以上欠席がある場合には、その理由を備考欄に記入する。

(13) 平成27年3月以前に中学校又はこれに準ずる学校を卒業した者については、各教科の評定等は生徒指導要録に記載されたものを転記し、その他は、生徒指導要録に記載された内容をもとに、(1)～(12)に準じて記入する。

◎ コース名は略称の記載でかまいません。

〔略称〕 機械システム・電気情報・マテリアル・都市建築

受験番号	※
------	---

平成28年度入学者選抜試験

推薦書

平成 年 月 日

八戸工業高等専門学校長 殿

中学校名

校長名

印

下記の者は、貴校の推薦入学にふさわしい者と認め、責任を持って推薦いたします。

記

フリガナ 受験者氏名	男 ・ 女	
	平成 年 月 日生	
志望コース (○で囲む)	機械システムデザインコース マテリアル・バイオ工学コース	電気情報工学コース 環境都市・建築デザインコース
志望の動機・ 理由及び志望 コースに対する 適性・興味・ 関心等		
人物・生活 態度等		
その他 参考事項		

(注) 記入の際は、裏面の「記入要領」を参照してください。

推薦書記入要領

本校所定の用紙使用のほか、本校所定の用紙と様式・大きさが同じでパソコン等により作成されたものも可とします。(ただし、感熱紙は不可。)

また、推薦書用紙は本校のホームページからダウンロードすることが可能です。

推薦書の記入にあたっては、ただ単に「まじめである」、「よく活動する」というような概略的、抽象的な記入ではなく、具体的事実に基づいて記入してください。

1. 志願の動機・理由及び志望コースに対する適性・興味・関心等

本人の志望コースに対する動機・適性及び意欲等並びに推薦される根拠となった特に目立つ特別な理由を具体的に記入してください。

2. 人物・生活態度等

本人の人物、性格、生活態度、健康状態、趣味等について、特に他の者と違う経験など特徴点を具体的に記入してください。

3. その他参考事項

上記以外について、特記する事項があれば記入してください。

成 績 一 覧 表

学 年	教 科 評 定	国 語	社 会	数 学	理 科	音 楽	美 術	保 体 ()	保 体 ()	技・家 ()	技・家 ()	英 語
第 1 学 年	5	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
	4											
	3											
	2											
	1											
	計											
第 2 学 年	5											
	4											
	3											
	2											
	1											
	計											
第 3 学 年	5											
	4											
	3											
	2											
	1											
	計											
平成 年 月 日		中学校名 (分校名)						校 長 氏 名		印		

《作成要領》

本校所定の用紙使用のほか、本校所定の用紙と様式・大きさが同じでパソコン等により作成されたものも可とします。(ただし、感熱紙は不可。)

また、成績一覧表用紙は本校のホームページからダウンロードすることが可能です。

- 平成27年12月末現在で作成し、在学する第3学年の普通学級在籍者全員（長期欠席その他の理由により平成28年3月卒業の見込みがない者を除く。）について、第1学年及び第2学年における各教科の評定並びに第3学年12月末現在の各教科の評定別人数を記入する。
- 「保体」、「技・家」の欄について
 - ① 男女別の場合には（男）（女）とそれぞれ記入する。
 - ② 男女共修の場合には左側に（男女）と記入し、右側の欄に斜線を引く。
 - ③ 1、2年が男女別、3年が共修の場合には、1、2年については（男）（女）別にそれぞれ記入し、3年については左側に記入し、右側の欄には斜線を引く。
- 「平成 年 月 日」欄には、作成年月日を記入する。
- 「校長・氏名」の欄の「印」は職印とする。

平成28年度入学者選抜試験

入学検定料領収書・受付証明書貼付票

八戸工業高等専門学校

種 類	コ ー ス 名	氏 名
本 科		

注 銀行の出納印のあるＣ票「入学検定料領収書・受付証明書」の裏面にのりをつけて貼り付けてください。

※ ゆうちょ銀行からの振込の場合は、「振替払出請求書預金口座振替による振込受付書」の裏面にのりをつけて貼り付けてください。

入学検定料の納入について

- ◎ 入学検定料をゆうちょ銀行から振込む場合は、別紙「入学検定料を郵便局(ゆうちょ銀行)から振込む場合の注意点」をご参照ください。
- ◎ 入学検定料をゆうちょ銀行以外の銀行等から振り込む場合は、次のようにお願いします。
1. 入学検定料は、必ず下記の本校指定の「入学検定料振込依頼書」を利用ください。なお、振込の際は別途手数料が必要となります。
 2. 入学検定料の振り込みは、下記振込用紙のA票・B票・C票の「志願者」欄を記入のうえ、銀行等(ゆうちょ銀行を除く。)の窓口にて振込み願います。
ただし、ATMからの振込はしないでください。
 3. C票の「入学検定料受付証明書」は、「入学検定料受付証明書貼付票」に貼付のうえ、願書受付期間内に本校に提出してください。
 4. **納入期限** 〔推薦選抜〕 平成27年12月16日(水)から平成28年1月13日(水)まで
〔学力選抜〕 平成28年1月25日(月)から平成28年2月10日(水)まで

本件に関する問い合わせ先：総務課財務係 TEL 0178-27-7228

A票

入学検定料振込依頼書

八戸工業高等専門学校

ご依頼日		平成 年 月 日		電信扱	
振込先	青森銀行 八戸支店	預金 種目	普通	口座 番号	2005038
受取人	フリガナ	コウセンキコウホンブ			
	氏名	高専機構本部			
志願者	フリガナ				
	氏名				
	住所	(〒 -) (TEL - -)			

出納印

B票

入学検定料振込通知書

八戸工業高等専門学校

依頼日		平成 年 月 日	
入学検定料	¥ 1 6 5 0 0		
	振込先 青森銀行八戸支店		
受取人	フリガナ	コウセンキコウホンブ	
	氏名	高専機構本部	
志願者	フリガナ		
	氏名		
住所	(〒 -)		
	(TEL - -)		

出納印

C票

入学検定料領収書・受付証明書

八戸工業高等専門学校

依頼日		平成 年 月 日	
入学検定料	¥ 1 6 5 0 0		
	振込先 青森銀行八戸支店		
受取人	フリガナ	コウセンキコウホンブ	
	氏名	高専機構本部	
志願者	フリガナ		
	氏名		
住所	(〒 -)		
	(TEL - -)		

振込手数料				円
-------	--	--	--	---

出納印

※ 取扱金融機関へのお願い

1. 当日中に取扱いくさるようお願いいたします。
2. 出納印は、A・B・C票への3カ所にもれなく押印してください。
3. B票は、取りまとめ店を経由して八戸工業高等専門学校へ通知願います。
4. C票は、必ず志願者(振込人)にお返してください。

(取扱店保管)

(取扱店→取りまとめ店(青森銀行八戸支店)→八戸高専)

(入学検定料受付証明書貼付用)

入学検定料を郵便局（ゆうちょ銀行）から振り込む場合の注意点

入学検定料は郵便局（ゆうちょ銀行）からも振り込むことができますが、以下の条件を満たす必要がありますので、ご注意ください。

- 1) ゆうちょ銀行から他の金融機関への振込は口座からのみ可能で、現金による振込は出来ません。
ご利用の際は、『通帳とお届け印』または『キャッシュカード』が必要です。
- 2) ゆうちょ銀行から他の金融機関への振込は、募集要項に添付されている振込依頼書を使用することは出来ません。窓口で「ゆうちょ銀行専用の振込依頼書（以下参照）」を受け取り、記入いただく必要があります。
- 3) 振込後は「振替払出請求書預金口座振替による振込受付書（以下参照）」を受領してください。
- 4) 「振替払出請求書預金口座振替による振込受付書」は「入学検定料領収書・受付証明書貼付票」に添付のうえ、願書受付期間内に本校に提出してください。

※ゆうちょ銀行専用の振込依頼書（サンプル）

[illegible]

※振替払出請求書預金口座振替による振込受付書（サンプル）

振替払出請求書 預金口座振替 による振込受付書				
科目				
取 扱 年 月 日		取 扱 時 間		受 払 摘 要
取 扱 店 番 号		処 理 通 番		代 行 店 番 号
振込先				
請求種別				
お受取人 おなまえ 様				
払出口座番号 払出口座 名義人				
振込金額 円 振込料金 円 (消費税別を含む.)				
合計金額 円				
払出明細番号				
ご利用ありがとうございました				
ご 注 意 1 振込内容に誤りがないか確かめください。 2 この受付書は、お取扱いの証拠となるものですから大切に保管してください。 3 口座番号の先頭の数字が「0」の場合は振替口座、「1」の場合は総合口座です。 4 料金には、消費税が含まれています。				

※P ゆうちょ銀行
(お客様用)



82円切手
貼 付

(中学校住所)

(志願者氏名)

中学校長
殿

受験票在中

平成 年 月 日

八戸工業高等専門学校 学生課入試・教務係

〒039-1192 八戸市田面木字上野平16-1

TEL (0178) 27-7234

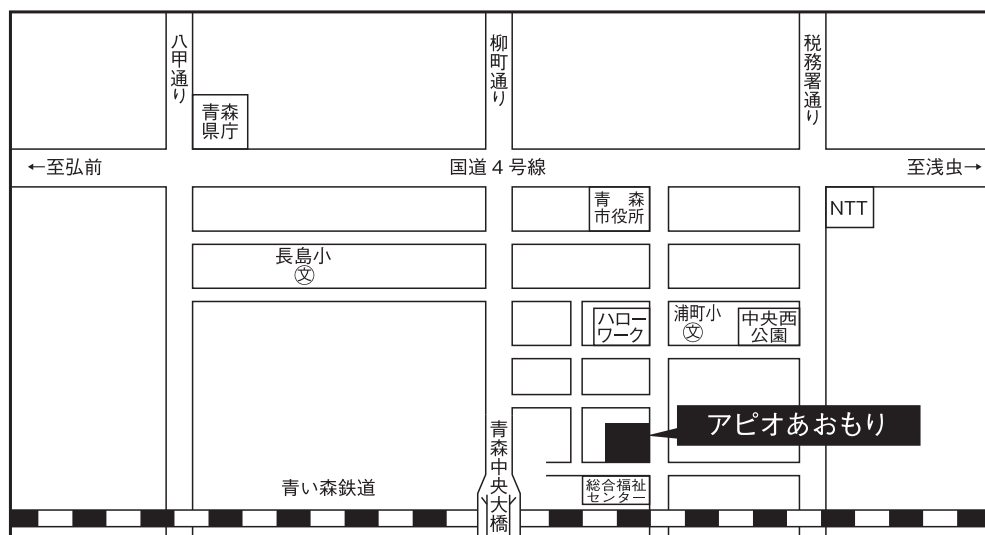
FAX (0178) 27-9487

メールアドレス kyoumu-o@hachinohe-ct.ac.jp

青森会場案内 (アピオあおもり)

- 青森駅から「バス」利用 (④のりば) 浪館・中央循環線 (右回り) 「アピオあおもり」下車
- 青森駅から「タクシー」利用 (約2.5km:10分)

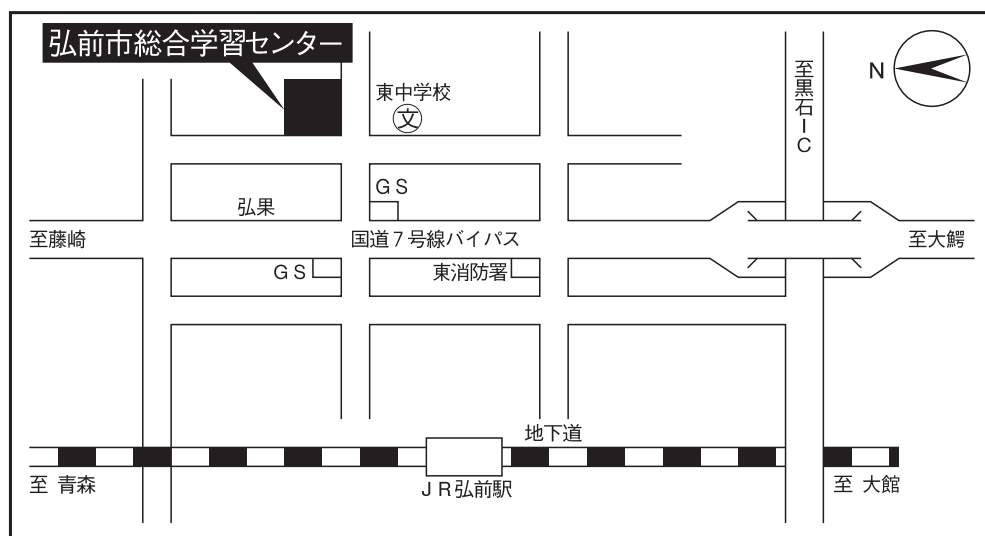
(アピオあおもり・青森市中央3丁目17-1)



弘前会場案内 (弘前市総合学習センター)

- 弘前駅から徒歩約25分 (弘前駅の東側へ)
- 弘前駅から「バス」利用 城東環状バス (和徳回り) 「総合学習センター前」下車 ー約10分ー
- 弘前駅から「タクシー」利用 (約2.5km:7分)
- 東北自動車道 大鰐・弘前 I Cより約15分、黒石 I Cより約15分

(弘前市総合学習センター・弘前市大字末広4丁目10の1)



八戸工業高等専門学校案内

★ 八戸駅から高専まで（東北新幹線八戸駅から高専まで2.8km）

● タクシー（約5分）

● 南部バス（約10分）

- ・ 八戸ニュータウン・聖ウルスラ学院線（八戸ニュータウン行）高専前下車
- ・ 八戸駅・聖ウルスラ学院線（聖ウルスラ学院行）高専前下車

● 南部バス／市営バス共同運行

- ・ 八戸駅線（司法センター前・田面木・日赤病院経由）（中心街方面行）田面木下車（徒歩10分）

★ 八戸市内六日町から高専まで（JR八戸線 本八戸駅から高専まで約5km）

● タクシー（約20分）

● 市営バス（約30分）

- ・ 八戸駅（司法センター・日赤病院経由）田面木下車（徒歩10分）
- ・ 八戸聖ウルスラ学院線（聖ウルスラ学院行）高専前下車

● 南部バス（約30分）

- ・ 八戸駅線（司法センター・田面木経由）田面木下車（徒歩10分）
- ・ 一日市線（司法センター・田面木経由）田面木下車（徒歩10分）
- ・ 三戸方面線（司法センター・田面木経由）田面木下車（徒歩10分）

